

令和4年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【5年生】

- ・調理実習など体験への関心度が高く、手順などを意識して安全に気を付けながら取り組むことができた。
- ・裁縫では様々な縫い方を習得したことで、フェルト布から作りたいものを考え、縫い方を工夫して行う様子が見られた。

【6年生】

- ・昨年度できなかった調理実習が行えたことで、知識を実践に生かすことができた。野菜を茹でたときの変化などに気付くことができた。

(2) 課題

- ・裁縫などの製作の際の細かい作業やミシンの使い方においては、理解・習得に、個人差がある。
- ・製作の際、興味をもって取り組むが、創意工夫してよりよい作品にしようとする姿勢に欠ける。
- ・バランスのよい食事の大切さについて理解はしているが、実際には好きな物を摂取し、偏った摂り方になってしまう傾向がある。
- ・学習して身に付けたことを実際の生活に生かして取り組めるようにすることが課題である。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◎製作や調理において安全で正しいやり方を習得できるように、手順を掲示するなど視覚的に配慮する。 ・今まで得た知識を製作や調理の学習で実践することで、経験を積めるようにする。 ・学習したことを生かして生活をよりよくできるように、学習した内容を振り返る時間を設けるようにする。	・今まで学習したことを生かして考えられるように、既習内容を振り返ったり、活用例を紹介したりする。 ◎生活に役立てられたことや友達の実践を共有することで、自分や家族のためによりよい生活を送るための取組をさらに考えられるようにする。	・学習して身に付けたことを生活や他の学習とも関連づけて取り組めるように、カリキュラムマネジメントを行う。 ・ワークシートやチェックカードなどを活用して自分の取り組みを振り返り、家庭で実践しようとする態度を高める。